

令和 3 年 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1階 26.5㎡、2階 9.9㎡×2部屋 合計 46.3㎡あります。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児発管 1名、社会福祉士 1名、介護福祉士 1名、保育士 3名、強度行動障害支援者養成研修修了者 2名、大学で心理学修了者 1名が配置されています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		施設の構造上、完全なバリアフリー化は難しいです。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			月に一度の定例会議に全職員が参加して研修を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年 7月・8月に、保護者様向けのアンケートを実施し、保護者の意向を検討して業務改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて自己評価結果を公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			日本発達障害ネットワークにおいて外部評価をしています。評価結果を今後の業務改善につなげています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			強度行動障害支援者養成研修等に取り組んでいます。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約時、また定期的に保護者へのアセスメントを行い、子どもの状況把握や保護者の希望を取り入れた個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		心理検査等には行ってはいません。独自で作成したアセスメント表を使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々の活動プログラムは毎日の打ち合わせ時に必ず確認しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月の壁紙作り、季節の行事、おやつ作り、お出かけなどプログラムを工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は近所の古谷神社や伊佐沼公園等で遊ぶが、土曜日や長期休暇では遠出をするなど、様々な行事を組んでいます
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			おやつのお手伝い、挨拶、散歩、外活動など集団での子どもの課題と個別の課題を考えて個別支援計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員全員で打ち合わせを実施して、支援の内容や一日の流れ、担当児童、送迎時間と運転手等を決めています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎終了が 19時を過ぎることも多く、日誌類の記入のみを行い、支援の振り返り、情報の共有は次の日の打ち合わせで行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別日誌や業務日誌に通所時の子どもの様子を詳しく記入しています。翌日の打ち合わせで話し合っています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年ごとに支援計画の見直しをしています。そのほか、必要に応じて計画の見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		トイレ、着替え等の自立支援、折り紙や壁紙作り、季節の行事を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管やその児童の様子をよく知っている担当職員がサービス担当者会議に出席しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校便りなどで行事を知らせてもらっています。個々の子どもの情報については、送迎時の引き継ぎや連絡帳等で対応しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在、医療的ケアが必要な子どもは通所していないが、連絡体制は整っています。医療的ケアが必要な子どもを預かっていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		就学前に通っていた療育センターでの様子を保護者から聞き取っています。今後話し合いの機会をもち、引継ぎの相互理解を密にします。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		これまでの支援内容等の提供は保護者に提供しています。作業所等の関係先にも情報を提供する体制はできています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		発達障害支援者専門研修を受講しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		伊佐沼公園のアスレチック広場で障がいのない子どもと一緒にアスレチック等を楽しむことがあります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		川越市社会福祉協議会と連携を図っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡帳、LINE、面談等で子どもの様子を詳しく伝え、話し合っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		ペアレントトレーニングの研修の参加を予定しています。現在、ペアレントトレーニングは、行っていないが随時、相談支援は行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時は必ず、契約書、重要事項説明書を読み合わせ、確認しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者から相談されたことに関しては、誠実に個別に対応して、必要な助言等もしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		運動会や卒業を祝う会などを開催し、保護者同士の連携を支援しています。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		傘や水筒を忘れたなどの忘れ物の苦情を受けた場合は直ぐに対応し、保護者に報告しています。また苦情受付担当者、苦情処理担当者を置き、苦情の内容は、打ち合わせで必ず報告し情報を共有しています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		びたみん通信、ホームページ、LINE等で活動内容や行事等の情報を発信しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		書類は鍵のかかる棚で保管し、ホームページでは顔写真等は載せないなど十分注意しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者の立場に立ってできるだけ分かりやすく説明して、同意を得るなどの配慮をしています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		近所の畑でじゃがいも掘り収穫を行うなど、地域の方々との交流を深めています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		緊急時対応マニュアルを作成して職員に周知しています。ホームページでも発信しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		消防総合訓練と避難訓練を実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		事業所研修で、虐待防止の研修を行っています。埼玉県虐待防止研修を受講しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		子どもの様子から部屋を分けるなどの対応をしています。また、外活動では交通事故に遭わないようにやむを得ず体を押さえることもあることを説明し、個別支援計画に記入しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時のアセスメントで保護者から食物アレルギーの子どもであると報告があれば、適切に対応しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		何かあった場合には、こまめにヒヤリハットを記入するように声掛け合っています。内容は打ち合わせで報告しています。